

2022年3月23日

川崎汽船株式会社

当社 LNG 燃料焚き・自動カイトシステム搭載大型ばら積み船が  
環境性能等に優れた船舶（特定船舶）導入計画として初めて認定

川崎汽船株式会社（以下、「当社」）は、海事産業強化法に基づく環境性能等に優れた船舶（特定船舶）の導入に取り組む海運事業者として、ジャパン マリンユナイテッド株式会社とともに特定船舶導入計画を申請し、国土交通大臣により本日付けで認定されました。この認定は特定船舶導入計画認定制度開始後初めての認定となります。

【制度概要】

海事産業強化法（日本の海上輸送を担う海事産業の基盤強化を図るための法律。昨年8月に施行。）に基づき、海運事業者及び事業基盤強化計画の認定を受けた造船事業者が共同で、特定船舶の導入に向けた計画（特定船舶導入計画）を策定し、国土交通大臣に提出することができます。また、当該計画が所定の認定要件を満たすと認められた場合は、国土交通大臣が認定を行います。

【申請内容】

申請者	海運事業者	川崎汽船株式会社
	船舶建造事業者	ジャパン マリンユナイテッド株式会社 (事業基盤強化計画認定：令和3年9月14日)
導入予定船舶	総トン数	約110,800トン
	載貨重量トン	約209,490トン（計画喫水：約176,790トン）
	起工	2023年5月予定
	竣工	2024年3月予定
	航路	主に本邦・豪州間の不定航路事業に就航予定
	その他	令和3年度社会変革と物流脱炭素化を同時実現する先進技術導入促進事業（うちLNG燃料システム等導入促進事業）の公募採択事業
特徴	LNGを燃料とする大型ばら積み貨物船。	
	LNG燃料を使用することで、CO2排出量の約40%の削減を見込む（従来の重油焚き船と比べ）	
	風力を利用した自動カイト（凧）システム(Seawing)を搭載し、更なるCO2排出量の削減を目指す。	
	最適航路選定システム(“K-IMS NAVI”)を採用し、運航時の最小燃費(CO2排出量削減)を目指す。	

当社は、昨年11月に環境に関わる長期指針「“K”LINE 環境ビジョン 2050」の一部を見直し、新たな2050年目標として「GHG（温室効果ガス）排出ネットゼロに挑戦する」ことを決めました。環境性能等に優れた船舶を研究・開発・導入していくことで、環境負荷の低減に積極的に取り組んでまいります。

【導入予定船舶イメージ図】



【参考リンク】

2019年6月7日発表：

自然エネルギー利用の自動カイトシステム“Seawing”を搭載  
～ 環境負荷低減による社会貢献～

<https://www.kline.co.jp/ja/news/csr/csr-2630416184971214499/main/0/link/190607JP.pdf>

2021年1月5日発表：

統合船舶運航・性能管理システム『K-IMS』の搭載を傭船に拡大

<https://www.kline.co.jp/ja/news/other/other7345302967964287725/main/0/link/210105JA%20.pdf>

2021年3月12日発表：

次世代型環境対応 LNG 燃料自動車専用船“CENTURY HIGHWAY GREEN”が竣工

<https://www.kline.co.jp/ja/news/car/car-413586458126020327/main/0/link/210312JA1.pdf>

2021年11月4日発表：

2050年 GHG 排出ネットゼロへの挑戦

～ 「“K” LINE 環境ビジョン 2050 」 2050年目標の改定について～

[https://www.kline.co.jp/ja/news/ir/auto\\_20211102423687/pdfFile.pdf](https://www.kline.co.jp/ja/news/ir/auto_20211102423687/pdfFile.pdf)